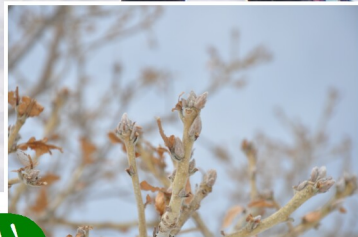


# 知床の森から



平成24年3月 第136号

北海道森林管理局 知床森林センター  
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東番外地(国設知床野営場内)  
電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477  
ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



最新イベント報告!!

## 第112回 森林レクリエーションin知床 かんじきで歩くフレペの森～春待つ知床を写真に撮ろう～

3月3日(土)、当センターにおける今年度最後のイベントを開催しました。流水漂うオホーツク海に注ぐフレペの滝(知床八景の一つ)や積雪期にしか行けない湯の華の滝周辺の森林を散策しながらデジタルカメラで春を待つ森林の姿を撮影するというもので、北見市や訓子府町などから27名の参加者が集まりました。

散策にあたっては、周辺の森林環境の特徴や、落雷木や折損木、そしてそれらに伴う若木の生長の様子など森林や樹木の様々な表情に加え、エゾシカによる森林生態系への影響などについての解説を行いました。そのほか、写真撮影のポイント毎に斜里町在住のアマチュアカメラマンによるデジタルカメラ撮影のレクチャーを行い、撮影を楽しみながらの散策となりました。

撮影については、あいにくの曇り空のため青空に映える知床連山などの撮影はできませんでしたが、その分近景への観察力が高まり、厳しい冬に耐えながらもひっそりと春を迎える準備をしている樹木の様子や、雪上に僅かに出た枯れ草を食むエゾシカの様子などを切り取った作品が生まれました。参加の皆様には、それぞれレンズ越しに知床の森の現状に触れていただけたのではないのでしょうか。

今回の作品は、3月末まで当センターにて展示しております。近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

## その他のイベント結果報告

### 第111回森林レクリエーションin知床【スキーで散策・知床冬景色】

2月11日(土)、前夜の吹雪模様の天候が嘘のような青空の下、第111回森林レクリエーションin知床「スキーで散策・知床冬景色」を開催しました。町内や網走市などの近隣だけではなく、北見市や釧路市、根室市のほか旭川市から18名の参加がありました。

散策は、流水で埋め尽くされたオホーツク海を望む海岸沿いの高台のコースで行いました。途中、厳冬期の森林内で見られる事象やエゾシカによる森林被害の現状などについての解説を行いました。単なるクマゲラやモモンガの痕跡の紹介、といった内容よりも、樹木の種類や用途、あるいはその生長過程などの解説といった森林・林業に関する内容への参加者の関心は思いのほか高かったように感じました。

森林・林業に関する情報発信については、今後とも、その質の向上を図りながら、より多くの方々に発信していけるよう努力していきたいと思えます。



### ロングランイベント【かんじき体験in知床・夕陽台】

<平成24年1月20日(金)~3月16日(金)開催>

期間中、職員が選定した散策コース内にてかんじきの貸し出しを行いました。コースは、知床森林センターに隣接する夕陽台(知床八景の一つ)を出発して海岸線沿いの高台を歩き野営場内へと続くコースで、真っ白な流水を見下ろしながら、エゾシカの姿や足跡、シカに樹皮を食われた木々、そしてそれを防ぐため人の手により保護ネットを巻いた樹木などが見られます。

体験者は、慣れないかんじきながらも楽しげに、また、コース周辺に点在する巨木を見上げるなど、冬の森林散策で知床の森の「今」に触れたのではないかと思います。

期間中は、試行として行っていた歩くスキーの貸出と合わせて40名以上の方に体験していただきました。



### 今年度のイベントを振り返って…

当センターは、イベント活動を通じて、より広い地域、より多くの方々に対して満足していただけるような知床の森林情報の発信に努めてきました。3月16日(金)の上記ロングランイベントの終了をもって今年度のイベントは無事すべて終了となりました。

今年度の当センターの活動を報道する新聞記事や参加者からのお礼状をご紹介します。

「高度情報化社会」という言葉に古くささを感じるほど情報通信の発達した現在ですが、新聞掲載や肉筆のお礼状には、文字で伝える内容以上の何かがあるように感じます。(イ)

新聞記事とお礼状の数々。まだまだありますが、全ては載せきれません…

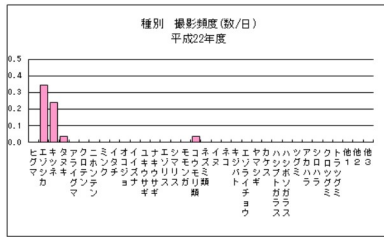


## 自動撮影調査

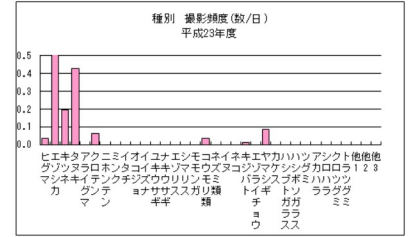
今年度の自動撮影調査の集計が終わりました。本紙135号では、できあがった写真を紹介しましたが、今回はグラフにより2週間の調査での撮影頻度を紹介いたします。

例年エゾシカが一番多いのですが、グラフの通り今年度の調査では昨年度と比べエゾタヌキがとて多く見られました。理由はわかりませんが、気象条件の変化、天敵の減少、食べるものが増えた(食性は雑食で、ネズミ、カエルなどの他に魚、昆虫類、果実なども食べる)ことなどが考えられます。

今後ともデータの蓄積に努め、知床の生態系の推移を把握することに役立てられればと思っています。



平成22年度調査結果



平成23年度調査結果

## 択伐指標林調査

この調査は、択伐施業の方法を理解してもらうとともに、昭和63年に伐採された森林のその後の林分推移を観察する目的で行われ、平成3年から5年ごとに調査を実施しています。

前回(平成18年)調査時にはほぼ伐採前の蓄積(haあたりの木の体積)に回復していましたが、今回の調査では新たな問題が…

それは、今や災害とまで言われているエゾシカの増加による樹皮食害の影響です。イチイ、ニレ、キハダはもちろん、イタヤカエデやナナカマドといった樹木がエゾシカの食害を受け、枯れてしまっているものが多く見られるようになりました。特に広葉樹の幼齢木の被害が目立ち、イチイを除くトドマツなどの好んで食べない針葉樹ばかりが多く育ってきていました。



このままでは原生的な知床の森林も、特定の樹種のみで構成された人工林のようになってしまわないかと改めてエゾシカの問題を考えさせられます。

## その他の業務報告

### 朱円東自治会女性部と草木染め&箸づくり

1月19日(木)、朱円東公民館にて同自治女性部へ草木染めと箸づくり体験の出前講座を行いました。これは、昨年7月に当センターで受け入れた斜里町自治連合会女性部の研修が縁となって実現したもので、12名の参加がありました。

染液の原料として使ったハンゴンソウなどにまつわるエゾシカによる森林被害の現状や、箸の原料材であるイチイやサクラなど樹木の話をお伝えしながら行いました。



参加者からは「森のものを使って作るのって素敵ね」や「リース作りや紙すきもやってみたい!」等、多くの声をいただきました。



### 平成23年度

### 北の国・森林づくり技術交流発表会

1月26日(木)~27日(金)、北海道森林管理局にて「平成23年度 北の国・森林づくり技術交流発表会」が開催されました。

当センターからは「したっけ、知床に来たらいいしょ。」と題し、併設の展示施設への集客力向上に向けた取り組みの方向性について発表しました。発表後は活発な質疑があり、捉え方は様々あるかとは思いますが、当センターの活動について多くの方々に関心を持っていただけたように感じました。



#### ボラ施設の目指すべき方向性

- 来館者7割以上が観光客
- 来館者のニーズと「緑化思想の啓発」の調和(情報の質的向上)
- 様々な地域から来た多くの観光客に情報を届けてもらう(情報発信の広域化)
- 近寄りやすいイメージを払拭
- 施設へのアクセスを容易に

# 知床 は今

「月日は百代の過客にして・・・」記録的な大雪、記録的な寒さも「又旅人也」なのでしょう。ここ知床も流氷が徐々に岸から離れてきており、近頃はめっきり春を思わせるようになりました。（芽吹きはまだまだ先ですが。）

さて、毎年のことですが小職にとって3月は心穏やかならざる月です。原因は不明ですが、経理関係の業務に長く携わったためか（決算期であること）、はたまた4月1日付けの異動がこれまでに10回もあったためか、いずれにしても穏やかならざるのが通例です。今年はどうかと言えば、やはり・・・。

しかし、今年の原因は明らかで、東日本大震災発生から1年。多くの犠牲者や多くの避難生活を余儀なくされている方々がいる中で、こうして「知床」の地で安穏と暮らして良いのだろうか、との思いからです。

『知床は今』のコーナーですが、遠く「知床」の地より、

被災されました皆様、避難生活を余儀なくされている皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げますとともに、被災されました地域の一日も早い復興をご祈念申し上げます。（ヒ）

## ボランティア活動施設から

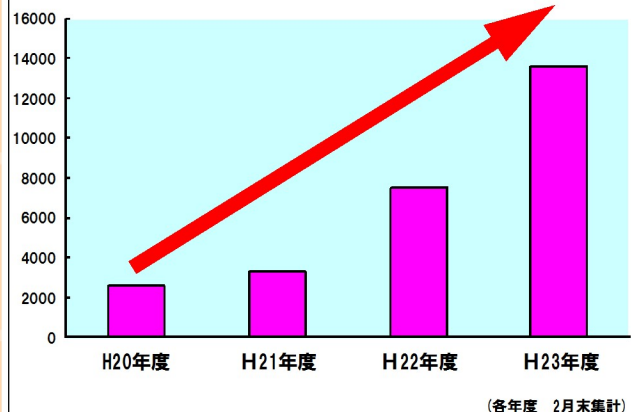
「新年度の知床森林センターに乞うご期待！」

今年度の来館者数は2月末の集計を終えたところで13,602名になりました。これは昨年同時期と比べると6,100名の増加で、オープンした平成20年度の5倍以上になりました。また、年間を通して実施している木工作体験の体験者数は、2月末の集計で通年実施を始めた昨年度に比べて134名増加の324名（延べ）となりました。

新年度に向けては、より多くの方に当センターに来ていただけるよう、イベントや館内展示をより一層充実させるとともに、一人でも多くの方に森づくりの応援団になってもらえるよう努力していきたいと思っています。

「新年度も知床(森林センター)に来たらいっしょ♪」(ナ)

ボランティア活動施設来館者数の推移



広報紙「知床の森から」は、本号が今年度の最終号となります。今年度、これまで隔月で主催する森林レクリエーションイベントや森とのふれあいイベントのほか、森林調査活動や地域行事への参画の様子など、当センターの取り組みをできるだけ幅広く掲載してきました。

現在、平成23年度の活動はほぼすべて終了したところですが、次年度の活動内容については鋭意検討中です。平成24年度も、より広い地域、より多くの方々に当センターの活動内容を知っていただけるよう努力していきたいと考えております。

次回は平成24年5月中旬の発行予定です。

- ★ 知床森林センターホームページ「ブログ・知床の四季」では旬な知床情報をお届けしています！
- ★ ライブカメラではオホーツク海に沈む夕日や知床連山の様子を見られます(下記URLからアクセスできます)。  
→ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



この広報紙は道産間伐材を使用しています。